

中間審査の実施要項

令和8年4月22日大学院医学教育部教授会一部改正

中間審査の目的

中間審査は、研究推進能力の向上を目指す重要な方策の一つとして、医学教育部の全教員の協力のもとに、博士課程大学院生の研究力アップとともに学位論文の質の向上を図るため、平成 28 年度より導入されています。

中間審査では中間期の博士課程大学院生に、研究計画、結果および研究経過などについて発表をしてもらい、その発表に対して、様々な分野の審査委員から、研究の質の改善のための具体的かつ建設的な助言を行います。所属する分野の研究方針に従いつつも、他の関連研究分野の協力を得て、より質の高い論文の作成を目指して、分野横断的な大学院生の研究指導を行います。なお、中間審査はあくまでも指導・助言であり、最終的な評価や学位論文の審査等に影響することは一切ありません。

1. 実施時期

- ・4月入学生：博士課程2年次の3月、又は3年次の8月のいずれか1回
- ・10月入学生：博士課程2年次の8月、又は3年次の3月のいずれか1回
- ・実施の日時と会場は審査委員の都合をあらかじめ大学院教務が確認し決定する
- ・長期履修学生等については個別に対応する

2. 申請方法

- ・大学院生の研究テーマや進捗状況などを記入した中間審査申請書を大学院教務に提出する。
- | | |
|--------|--|
| ・提出時期 | 4月入学生 2年次3月審査の場合：2年次の12月
3年次8月審査の場合：3年次の6月 |
| 10月入学生 | 2年次8月審査の場合：2年次の6月
3年次3月審査の場合：3年次の12月 |

時期	2 年次				3 年次			
	6 月	8 月	12 月	3 月	6 月	8 月	12 月	3 月
4 月入学			○	●	○	●		
10 月入学	○	●					○	●

○ 中間審查申請書提出時期

● 中間審査

3. 実施方法

(1) 審査委員

医学教育部を担当する教員資格審査「D○合」判定の教員1名と「D 合」判定以上の教員2名が審査を担当する。担当する審査委員の決定は、中間審査申請書に記載の推薦審査委員、又は申請書に記載の審査区分と適合する教員の中から選定し、大学院教育委員会で決定する。

(2) 中間審査会

当該大学院生は研究の目的、方法、結果、問題点、今後の研究の予定などについて発表し、その後審査委員から質疑応答を実施する。審査会は30分から1時間程度を目安とし、原則非公開とする。ただし学生の指導教員や指導教員が指名した教員は参加することができる。審査会は学生と審査委員の都合を鑑みて、「対面」または「Zoom を利用するなどのオンライン」いずれかの方法で対応可能とする。

(3) 研究提案書の作成

当該大学院生は、中間審査委員会の審査委員の意見とその意見に対応した具体的な研究の方向性や意見を示した研究提案書を作成し、指導教員のチェックを受けたものを審査会の日から一週間以内に中間審査員宛に提出する。同委員は、提出された研究者提案書の内容についてチェックする。審査委員長は研究提案書の最終版を申請者から受領後、署名をしたものを教務担当宛に提出する。教務担当は大学院教育委員長に研究提案書の提出状況について報告する。

中間審査委員は、当該大学院生もしくはその指導教員から研究の進捗などに関するディスカッションの申し出があった場合には積極的に応じることとする。

大学院医学教育部博士課程 中間審査申請書

大学院教育委員長 殿

年 月 日

講座名： _____

学籍番号： _____

名前： _____ (自署)

指導教授： _____ 印

下記のとおり、中間審査を申請いたします。

研究題目			
研究期間	年 月 ～ 現在に至る		
本研究について、 指導教授以外に指導 をしている教員			
中区分（番号）			
小区分名			
推薦審査委員 （３名記入して下 さい）			

※申請時に推薦いただく審査委員（３名）は大学院教育委員会で審議された後、
変更となる場合がありますのでご了承下さい。

※分野（小区分）は科研費の審査区分表を参考に記入してください

記入例

大学院医学教育部博士課程 中間審査申請書

大学院教育委員長 殿

〇〇〇〇年 〇月 〇日

講座名： _____

学籍番号： _____

名前： _____ (自署)

指導教授： _____ 印

下記のとおり、中間審査を申請いたします。

研究題目			
研究期間	2018年 4月 ~ 現在に至る		
本研究について、 指導教授以外に指導 をしている教員			
中区分 (番号)	43	45	
小区分名	ゲノム生物学関連	システムゲノム科学関連	
	遺伝学関連		
推薦審査委員 (3名記入して下さい)	〇〇〇〇学 〇〇〇〇 教授 〇〇〇〇学 〇〇〇〇 助教 〇〇〇〇学 〇〇〇〇 助教		

※申請時に推薦いただく審査委員（3名）は大学院教育委員会で審議された後、
変更となる場合がありますのでご了承下さい。

※分野（小区分）は科研費の審査区分表を参考に記入してください

中間審査用研究抄録

研究の概要について、下記のように①～⑤の項目ごとに記載した抄録を提出して下さい。

1～2 頁にまとめてください。

① 研究の背景・目的

② 方法

③ 結果・考察

* 本審査は、研究がより発展できるように指導することが目的ですので、ネガティブデータも示して下さい。

④ 今後の研究計画

⑤ その他

* 研究を遂行するのに、困っていることなどあれば自由に記載して下さい。
例えば、ノックアウトマウスを作製したいが研究資金が不足しているとか、
〇〇解析を行いたいですが誰に相談したらいいかわからない（共同研究者を教
えて欲しい）とか、〇〇実験が全く成功しないとか、何でも記載して下さい。

※本抄録については外部に公表することはありません。

※中間審査実施 1 週間前までに抄録を審査委員へお渡しください。

研究提案書

中間審査委員会
審査委員 各位

年 月 日

分 野 名 : _____
学籍番号 : _____
名 前 : _____ (自署)
指導教授 : _____ 印

先日の中間審査会における議論を踏まえまして、研究提案書を提出いたします。

審査日	
審査委員	
審査概要	

審査委員からの意見・提案など	審査委員の意見・提案に対する対応策

以上の内容を確認いたしました。

なお、本中間審査委員会で審議した内容等については外部に公表しないことを
3名の間審査委員の間で確認しております。

中間審査委員長 （署名）